

単元構想について

1. 本質的な問い【何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」】
なぜ伝え方を学ぶのだろうか。
2. 単元を貫く問い【単元を通して考え深めていく「問い」】
説得力のある文章を書くためにはどのようなことを書く必要があるのか。
3. 個別の問い【単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等】
 - ・ AとBどちらの場所がよいか。その根拠にはどのようなものがあるか。
 - ・ 説得力のある意見文を書くために必要な要素は何か。
 - ・ 自分の考え、根拠、理由付けはどのように繋がっていればよいだろうか。

単元について

○ 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）「思考力、判断力、表現力等」の「B書くこと」の指導事項(1)ウ「根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」を受けて設定している。ここでは、自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味し、文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書くことが主なねらいである。

自分の意見を的確に伝えるためには意見文を支える根拠を明確に示さなければならない。1学年時の「根拠を明確にして書こう」では、根拠を示すことの重要性とその基本的な手順を学習しているが、根拠を挙げるだけでは不十分である。そのために本単元では直前の単元である「論証の説得力を見極める」と併せて学習し、論証の構造・ポイントについて確認し、論証の説得力を見極めができることを狙う。また、自分の考えに説得力をもたせて表現するためだけでなく、他者の意見を批判的・分析的に検討するためにも、本単元を通して、根拠を吟味するという実際を経験させることで、自分の考えを伝えるための必要な能力を身に付けることができると考える。

○ 生徒観

1学期に実施した定期試験の「書くこと」に特化した問題では、中間試験 56.4%、期末試験 61.9%であり、本学級の生徒は「書くこと」に対して苦手意識を抱えている生徒が多いものと考えられる。読解に関する問題に対しても、文脈の中の言葉の意味を捉え、文章全体の要旨を捉える力が弱いことも、昨年に引き続き顕著である。文章の読み取りを重ねる中で、筆者の記述の工夫に着目し、根拠を明確にして吟味・検討できる生徒が出てきた一方、筆者の主張を支える根拠を本文から書き抜けるものの、自分の意見を具体的にまとめることに苦手意識をもつ生徒は多い。言葉を正確に捉えていないことや、文章展開や表現からの読み取りの力が弱いことや、文章の前後の内容を関連付けて読むことができず、文脈を把握しにくいなど、生徒の読解力の差も明らかである。そのため自分の意見と根拠の整合性が合わなかったり、具体的な事実に基づいて書けなかったりといったつまづきが予想される。

○ 指導観

指導に当たっては、個々の興味や関心を持続させるため、課題設定の難度を段階的に上げていき、作業の流れを把握させた上で本時の課題へと取り組ませていきたい。本学習に入る前段階で、結論と根拠を塗り分けして視覚的にロジックを示したり、利点と欠点、根拠とそれに対する反論が整理できるワークシートを用いたりすることで、実感をもって「書くこと」の構造への理解を深められるよう

にしていく。

教師主導の知識伝達ではなく、生徒が主体的に学習の見通しをもって授業に取り組めるようにするため、なぜ根拠が必要なのか、その根拠には説得力があるか、説得力のある根拠がなぜ必要なのか、と問い続け、ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、一連の学習が自分のものになるように指導する。更に、根拠の繋がり of 適切さを意識しながら取り組めるようにするため、論証の説得力を見極めるポイントを提示し、自分で意見文を書く過程に至るまで、そのポイントを丁寧にリマインドさせながら指導していく。そうすることによって本単元で身につけたい力を生徒自身が自覚できるよう仕掛けていく。

単元の目標

- 文章の構成や展開について理解を深めることができる。
 - 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
- 【知識・技能】
- 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。
 - 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
- 【思考・判断・表現】
- 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア・文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ	<ul style="list-style-type: none">・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	<ul style="list-style-type: none">・進んで根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。

単元計画（全5時間）

時間	学習活動	重点	記録	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ○単元全体の目標を確認し学習の見通しをもつ。 ・「学びを支える言葉の力」を読み、論証の説得力を見極めるポイントを理解する。 ・論証から結論と根拠を分類し、説得力があるかどうかを考える。 	思		<ul style="list-style-type: none"> ・論証から結論と根拠を塗り分けることによって説得力の有無を判断しようとしている。
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を検討し、吟味する。【本時2/5】 ・問題を検討する。 ・自分の立場を決める。 ・根拠を考え吟味する。 ・お互いの根拠を吟味し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元課題：図書館の分館を作るには、AとBのどちらがよいか。 </div>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館分館新設案に関する二つの案それぞれの利点と欠点を考えさせる。[記述分析] ・自分の立場を決めその意見を支える根拠を出す。 ・書き出した根拠を班で共有し、お互いの根拠について吟味し合う。
4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館の分館新設についての意見文を書く。 ・意見文の構成を理解する。 ・意見文を書く。 ・読み合って評価し合う。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・吟味した根拠を踏まえ自分の決めた立場に関する意見文を書く。[記述分析]

本時の学習

(1) 本時の目標

○根拠を考え、内容を吟味したうえで、お互いの根拠を吟味し合うことができる。

(2) 本時の評価規準

○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。【思考・判断・表現】

(3) 本時の学習展開（2時間目／全5時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て	◎評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>単元課題：図書館の分館を作るには、 AとBのどちらがよいか。</p> <p>○論証とは何ですか。また、論証に必要なものは何ですか。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">【めあて】 根拠を吟味することができる</p> <p style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;">本時のゴールの見通し</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">A：「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の意見のよい点や改善点を、予想される反論を踏まえた上で、まとめようとしている。 B：「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の意見のよい点や改善点をまとめようとしている。</p>	<p>◇電子黒板や図表を用い、課題を整理して伝える。</p>	
<p>2 A・Bそれぞれの利点・欠点を考える。(個人→班)</p> <p>○二つの場所にそれぞれに新設した時、どのような利点と欠点が考えられるでしょうか。【ワークシート①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aは駅に近く、利便性が高い。 ・Aは人が多くにぎやかな場所なので、静かに本を探す図書館には向いていない。 ・Bは中学や高校に近く、生徒が利用しやすい。 ・Bは駅から離れているのでアクセスが良くない。 <p>3 自分の立場と根拠を2つ考える。(個人→班)</p> <p>○みなさんはどちらに建てるべきだと考えますか。またその根拠に対して予想される反論にはどのようなことが考えられますか。【ワークシート②】</p>	<p>◇個人思考の後、班で情報を集めさせる。</p> <p>◆電子黒板の教師例を参照しながら考えるよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>□ 一人一人を尊重した授業をするための留意点 班活動を行う際は、相手に体を向け相手の目を見て聴く。</p> </div> <p>◆参考資料を読ませながら線を引かせたり印をつけたりして、利点を探させる。</p> <p>◇班のメンバーでそれぞれの立場での根拠の読み合わせをさせてから、あがってきた根拠を一つずつ議論させる。</p> <p>◇ボードに記入し、黒板に貼る。</p>	<p>◎「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される生徒の反応</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て</p>	<p>◎評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p>
<p>4 議論を通じて根拠を吟味する。 (班→全体)</p> <p>○班のメンバーから得られた意見や反論は適切なものでしたか。</p> <p>5 全体で共有する。</p> <p>○相手の意見に同意できた点あるいは反論した点で自分の意見が変わった人はいましたか。</p> <p>・(例)Cさんの「ショッピングセンターには子供がたくさんいるから、という根拠は事実に基づいていない。でもスポーツセンター付近には中学校や高校があってD市の特に若い世代の読書への関心を高めたいというねらいに合っているのではないか」という意見を聞いて私もスポーツセンターに建設した方が良いと思いました。</p> <p>6 まとめをする。</p> <p>○根拠を吟味するときに大切なことは何ですか。</p> <p>・確かな事実に基づいているか。</p> <p>・個人的な主観だけでなく、数値や資料といった客観的な事実が含まれているか。</p> <p>・反対の立場から簡単に反論されてしまわないか。</p> <p>7 本時を振り返る。</p>	<p>◇教科書 P103 の例を参考にして、話し合いを深めさせる。</p> <p>◇根拠をただ列挙するだけでなく、それらに対して予想される反論まで考えるよう指導する。</p> <p>◇各班で一人ずつ発表者を決めておき発表させる。</p> <p>◇本時で学習したことが次時の意見文を書く活動に繋がることを意識させながら振り返りをさせる。</p>	
<p>★めざす生徒の姿</p> <p>○根拠を吟味するときに大切なことは、その根拠が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな事実に基づいているか。 ・個人的な主観だけでなく、数値や資料といった客観的な事実が含まれているか。 ・反対の立場から簡単に反論されてしまわないか。 		

(4) 板書計画

<p>まとめ</p>	<p>B スポーツセンター</p>	<p>A ショッピングモール</p>
<p>..... 根拠を吟味するときのポイント</p>	<p>出された利点や欠点</p>	

根拠の吟味—議論
AとBはどちらが新設地に適しているだろう。

問題
図書館の分館を新設するならどこだろう。
・問題の地図
・参考資料

めあて
根拠を吟味して書こう 「地図の意見文」
根拠を吟味することができる